既存化学物質審査シート(分解性・蓄積性)

(平成22年12月17日開催)

官報公示	04011	44-55-77 Tr	判定	X_2_++1_2 7_11 1 	
整理番号	MATATION CAS No. 物質名称		分解性	蓄積性	頁
3-2227	583-57-3	1, 2ージメチルシクロヘキサン	難分解性	l	1
3-11 3-22	98-06-6	tert ーブチルベンゼン	難分解性	I	2
4-80	571-58-4	1, 4ージメチルナフタレン	難分解性	I	3
3-521 3-526	128-39-2	2, 6ージー <i>tert</i> ーブチルフェノール	難分解性	-	4
3-53	88-16-4	1-クロロ-2-(トリフルオロメチル) ベンゼン	難分解性	高濃縮性でない	5
3-2851	2432-14-6	2, 6ージブロモー <i>p</i> −クレゾール	難分解性	高濃縮性でない	6
3-553	903-19-5	2, 5ービス(1, 1, 3, 3ーテトラメチルブタンー1ーイル)ヒ ドロキノン	難分解性	高濃縮性でない	7
5-3720	2057-49-0	4-(3-フェニルプロパン-1-イル)ピリジン	難分解性	高濃縮性でない	8
2-285	355-80-6	2, 2, 3, 3, 4, 4, 5, 5ーオクタフルオロペンタンー1ー オール	難分解性	高濃縮性でない	10

官報公示 整理番号	3-2227	CAS No.	583-57-3	管理番号	K-1845				
判定案	分解性:難分解性 蓄積性:一								
名称 構造式等	名 称:1,2-ジメチ 分子量:C ₈ H ₁₆ 分子式:112.21	・ルシクロへキ	キサン						
m v A	cis 体: 85%、trans 体	: 15%							
用途製造及び	_								
輸入数量 外観	無色透明液体								
溶解度	水: 6mg/L (25℃)								
分解性	難分解性 分解度試験(化審法テ B O Dによる平均分解) G Cによる平均分解) ピーク 1 (<i>trans</i> 体)の平 ピーク 2 (<i>cis</i> 体)の平均 pH 調整:無	度:0%(-2,0 度:2 %(3,2 均分解度:2	0, -4) (基礎呼吸区 7.1 2, 1) %(3, 2, 1)						
備考									

官報公示 整理番号	3-11 3-22	CAS No.	98-06-6	管理番号	K-1846
判定案	分解性:難分解性 蓄積性:一				
名称 構造式等	名 称: tertーブチ 分子量:134.22 分子式:C ₁₀ H ₁₄	・ルベンゼン			
用途	_				
製造及び 輸入数量	_				
外観	無色透明液体				
溶解度	水:29.5mg/L(25°C)				
分解性	難分解性 分解度試験(化審法テク解度試験(化審法テク解度試験(化審法テクタを対象) 日本のではる平均減少等 はいます。 1 日本のでは、 1 日本	度:0 %(-4, 率:27 %(25 が閉瓶を用いて	-2, -1) (基礎呼吸区 8. 5, 29, 28)	8 mg、汚泥区 ⁵ .、被験物質残留	平均 6.5mg) 習率は99%で
備考					

官報公示 整理番号	4-80	CAS No.	571-58-4	管理番号	K-1847			
判定案	分解性:難分解性 蓄積性:-							
名称 構造式等	名 称:1,4-ジメチ 分子量:156.22 分子式:C ₁₂ H ₁₂	・ルナフタレン						
用途	中間物、溶剤、プロセス		· 剤、繊維剤(非成形)	※ 1				
製造及び	4-80 として 1,000~10,0	000 t 未満 [※] ¹						
輸入数量								
外観	微黄色透明液体							
溶解度	_							
分解性	難分解性 分解度試験(化審法テ BODによる平均分解) HPLCによる平均分解) pH 調整:無 ①ソーダライムを分析し	度:0%(-5, 度:2%(2,4	-6, -4) (基礎呼吸区 1 l, 1)	1.7 mg、汚泥区				
備考	※1 化学物質の製造・	輸入量に関す	る実態調査(平成19年	F実績)				

官報公示 整理番号	3-521 3-526	CAS No.	128-39-2	管理番号	K-1848				
判定案	分解性:難分解性 蓄積性:一	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·							
名称 構造式等	名 称: 2, 6-ジー ter t-ブチルフェノール 分子量: 206.32 分子式: C ₁₄ H ₂₂ O								
用途	中間物、塗料等溶媒、接	着剤等溶媒、	工業用溶媒、写真・印	刷等用※1					
製造及び 輸入数量	3-521 として 100,000~	1,000,000 t 未	₹満※1						
外観	白色固体								
溶解度	水:4.11mg/L(25°C)								
分解性 	難分解性 分解度試験(化審法テ BODによる平均分解 HPLCによる平均減少 pH調整:無	度:0% (-2,	-4, -4) (基礎呼吸区 6.						
	①分解度試験の結果、被 ーベンゾキノン(変化		= /	-ジ− t e r	tーブチルー p				
備考	※1 化学物質の製造・	輸入量に関す	る実態調査(平成19年	F実績)					

官報公示 整理番号	3-53	CAS No.	88-16-4	管理番号	K-560A			
判定案	分解性:難分解性 蓄積性:高濃縮性でない							
名称 構造式等	名 称: 1-クロロ-2- (トリフルオロメチル) ベンゼン 分子量: 180.55 分子式: C ₇ H ₄ ClF ₃							
用途	_							
製造及び	_							
輸入数量								
外観	無色透明液体							
溶解度	_							
分解性	難分解性 分解度試験(OECD テストガイドライン 301D: 28 日間) B O Dによる平均分解度:0%(4,-4)(基礎呼吸区 0.57 mg/L、汚泥区平均 0.58 mg/L) G Cによる平均分解度:0%(-1,2) pH 調整:無							
蓄積性	高濃縮性でない 分配係数試験(OECD テストガイドライン 117、HPLC 法) 解離性:なし 溶離液:メタノール/精製水(75/25 v/v) 温 度:25±1 ℃ LogPow 平均:3.1(3.1、3.1)							
備考								

官報公示 整理番号	3-2851	CAS No.	2432-14-6	管理番号	K-1502			
判定案	分解性:難分解性 蓄積性:高濃縮性でない							
名称 構造式等	名 称:2,6-ジブロ 分子量:265.93 分子式:C ₇ H ₆ Br ₂ O	モー p -クレン	Br OH					
用途	_							
製造及び	_							
輸入数量								
外観	微黄色結晶性粉末							
溶解度								
分解性	難分解性 分解度試験(化審法テストガイドライン、OECD テストガイドライン 301C:28 日間) B O Dによる平均分解度:0%(-10,-6,-5)(基礎呼吸区 4.9mg、汚泥区平均 2.9mg) D O Cによる平均分解度:0%(-10,-11,-9) HPLCによる平均分解度:0%(-3,-7,-3) pH 調整:無 ①ソーダライムを分析した結果、被験物質が検出されている。							
蓄積性	高濃縮性でない 分配係数試験(OECD 解離性:あり pKa=7 溶離液:メタノールり 温 度:25±1 ℃ LogPow平均:3.3 (3.5	テストガイド .20 ん酸緩衝液(ライン 117、HPLC 法					
備考								

官報公示 整理番号	3-553	CAS No.	903-19-5	管理番号	K-1850			
判定案	分解性:難分解性 蓄積性:高濃縮性でない							
名称 構造式等	名 称: 2,5-ビス(分子量:334.54 分子式:C ₂₂ H ₃₈ O ₂	(1, 1, 3,	3ーテトラメチルブタ OH OH	ンー1ーイル)	ヒドロキノン			
用途 製造及び 輸入数量	写真・印刷等用、ゴム添 3-553 として 100~1,000	, , .						
外観溶解度	うすい褐色の結晶性粉末 水: 0.027mg/L	ŧ						
分解性	難分解性 分解度試験(化審法テン BODによる平均分解)	難分解性 分解度試験(化審法テストガイドライン:28 日間) B O Dによる平均分解度:0 %(0, 0, -2)(基礎呼吸区 3.1mg、汚泥区平均 2.7mg) G Cによる平均分解度:1 %(-1, 4, -1)						
蓄積性	高 濃縮性でない 濃縮度試験(化審法テストガイドライン:28日間) 試験魚種(急性毒性試験:ヒメダカ Oryzias latipes、濃縮度試験:コイ Cyprinus carpio) 96hLC50値:>5 mg/L (助剤使用: HCO-40,2-メトキシエタノール) 水槽設定濃度(第 1 濃度区): 0.05mg/L、(第 2 濃度区): 0.005mg/L 助剤使用:有(第 1 濃度区)HCO-40 10 mg/L, THF 24 ppm (第 2 濃度区)HCO-40 0.1 mg/L, THF 25 ppm BCFss(第 1 濃度区): 234倍、 BCFss(第 2 濃度区): 271倍							
備考	※1 化学物質の製造・	輸入量に関する	 る実態調査(平成19年	F実績)				

官報公示 整理番号	5-3720	CAS No.	2057-49-0	管理番号	K-1851			
判定案	分解性:難分解性 蓄積性:高濃縮性でない							
名称 構造式等	名 称: 4-(3-フェニルプロパン-1-イル) ピリジン 分子量: 197.28 分子式: C ₁₄ H ₁₅ N							
用途	_							
製造及び 輸入数量	_							
外観	橙黄色透明液体							
溶解度	水:190mg/L							
分解性	難分解性 分解度試験 (OECD テストガイドライン 301D: 28 日間) B O Dによる平均分解度: 4% (5,3) (基礎呼吸区 0.38 mg/L、汚泥区平均 0.61 mg/L) G Cによる平均分解度: 23% (24,21) pH 調整:無 ①分解度試験の結果、被験物質の一部が構造変化し、ヒドロキシル基が付加した m/z214							
蓄積性	の物質(変化物)を生成したと推定している。 高濃縮性でない 濃縮度試験(化審法テストガイドライン:28日間) 試験魚種(急性毒性試験:ヒメダカ Oryzias latipes、濃縮度試験:コイ Cyprinus carpio) 96hLC50値:5.7 mg/L (助剤使用:DMSO) 水槽設定濃度(第1濃度区):0.5 μ g/L、(第2濃度区):0.05 μ g/L 助剤使用:有(第1濃度区)DMSO 50ppm (第2濃度区)DMSO 50ppm (第2濃度区):28倍、BCFss(第2濃度区):≦92倍							
備考								
Vmi J								

既存化学物質審査シート(変化物)

官報公示 整理番号	_	CAS No.	_	管理番号	K-1851
判定案	分解性:一 蓄積性:高濃縮性でない	\	<u> </u>	I	
名称 構造式等	名 称:4-(3-フェ 物質 分子量:- 分子式:-		(-1-イル) ピリジン(定構造)	にヒドロキシバ +OH	レ基が付加した
用途	_	/1¤			
製造及び	_				
輸入数量					
外観	_				
溶解度	_				
分解性	_				
蓄積性	高濃縮性でない ①類似物質である4- ら評価する。 試験サンプル:4-(濃縮度試験(化審法テ 試験魚種(急性毒性試験 96hLC50値:5.7 mg/L 水槽設定濃度(第1濃) 助剤使用:有(第1濃) (第2濃) BCFss(第1濃度区):	3 ーフェニル: ストガイドラ/ 験:ヒメダカ((助剤使用:I 度区): 0.5μg 度区) DMSO 度区) DMSO	プロパンー1ーイル)と イン:28日間) <i>Oryzias latipes</i> 、濃縮度 OMSO) g/L、(第2濃度区): 0.0 50ppm 50ppm	ピリジン E試験 : コイ <i>Cy</i> 05μg/L	
備考					

官報公示 整理番号	2-285	CAS No.	355-80-6	管理番号	K-1849			
判定案	分解性:難分解性 蓄積性:高濃縮性でない							
名称 構造式等	名 称: 2, 2, 3, 3, 4, 4, 5, 5-オクタフルオロペンタノン-1-オール 分子							
用途	中間物、工業用溶剤、塗	*************************************						
製造及び	100~1,000 t 未満 ^{※1}	-1 1/14						
輸入数量	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,							
外観	無色透明液体							
溶解度	水:>10000mg/L							
分解性	難分解性 分解度試験(OECD テストガイドライン 301D: 28 日間) B O Dによる平均分解度: 0 % (-6, -6) (基礎呼吸区 0.47 mg/L、汚泥区平均 0.18 mg/L) G Cによる平均分解度: 0 % (-4, -7)							
蓄積性	pH 調整:無 高濃縮性でない 濃縮度試験(化審法テストガイドライン:28日間) 試験魚種(急性毒性試験:ヒメダカ Oryzias latipes、濃縮度試験:コイ Cyprinus carpio) 96hLC50値:>100 mg/L (助剤使用:なし) 水槽設定濃度(第1濃度区):1mg/L、(第2濃度区):0.1mg/L 助剤使用:(第1濃度区) 2-メトキシエタノール 24ppm (第2濃度区) 2-メトキシエタノール 25ppm BCFss(第1濃度区):<3倍、BCFss(第2濃度区):<29倍							
備考	※1 化学物質の製造・	輸入量に関する	る実態調査(平成19年	三実績)				